

## 430MHz、ssb とは (ニューカマーのために)

もっと、最初の頃を書くべき事でしたが、今になってしまいました。すでに、この周波数帯でssbを運用されて居る局には、今更、に成りますが、これから、ssbの運用をして見ようと言う局の為に付き合ってください。ひと昔前まで、430は飛ばない！と言われて来ましたが、大きな間違いと勘違いです。今や日本列島、8エリア(北海道)から6エリア(九州)まで、つながるのは珍しく有りません。国内のHF並みです。確かに年がら年中って、訳には行きませんが、コンディションによっては繋がります。「聞いて居ても何も聞こえない」平日の日中時間帯は出て居る局も少ないので中々聞こえません。ssbで使える周波数範囲は430, 10から431, 00迄です。CQを出す場合は、430, 11から430, 99迄ですが、余り上の周波数では、他の局は聞いて居ませんので、精々430, 550位がよいでしょう。FMの偶数の周波数と違って、ssbの場合は、430, 110から、10Khz, 20Khzステップの 430, 130、430, 150 と言った奇数周波数を使って交信して居ます。必ずしも、この周波数で、と言った事は有りません。使用して居る無線機に依っては、周波数ズレの無線機も有るので、おおまかで良いでしょう。交信が始まれば、相手の周波数に併せて、聞きやすく調整して下さい。ただ、CQを出しても、同じ周波数で、エリア間のスケジュールを組んで交信されて居る局から、「何処何処と使って居ます」なんて言われた場合は遠慮して、周波数を移りましょう。DX交信で、移動局や固定局でもタイムスケジュールを組んで交信されている局も居ます。貴方に聞こえなくても、相手間では聞こえて居るんです。これは、アンテナや設備の違いでしょう、黙って聞いていても構いません。「使って居ます」と言われた局は聞こえたのだから、当然繋がるでしょうが、ヒョットしたら、遠くの局が聞こえて来るかも知れません。聞こえなくても、その局の交信が終わった様なら声を掛けて見ましょう。只、先程も書いたように周波数をきちんと併せて声を出します、これを、「ゼロイン」と言います。周波数のズレた所では、相手局に迷惑を掛ける事に成ります。1局対1局なら良いのですが、何局ものロールコールや、珍しい所からのサービス交信では、特に「ゼロイン」は基本です。こう言った珍しい所からのサービスは、いんなリアルタイム情報を確認した方が良いでしょう。430MHzssbの代表的なところでは、「430ssbメーリングリスト」等が有って、各局の移動のRT情報を随時流して居ます。週末の夜の時間は各局賑やかですが平日の日中は、殆ど聞こえません。アンカバー局のFMで使って居る違法局が多く居ます。昨今では毎日、どこかの周波数で各エリア間での定時交信(スケジュール)が開催されて居ます。近郊のエリアで有れば、聞こえて来るでしょう。センターMC局が参加局のチェックを取って居たら、自局のコールサインを言って仲間に加えて貰いましょう。第一声を出したら、その瞬間からあなたは、SSBerです。コンディションに依っては、スケジュールの時間内で思わぬ遠いエリアからの声が入って来る事も有ります。上手く交信できれば、あなたはその時から430ssbDXerです。聞こえる為には、それなりの設備も必要でしょうが、スケジュールに参加して居れば、諸先輩OM局から色々アドバイスも頂けます。なぜ430ssbが飛ぶのかは、当欄の最初の項からお読みください。途中からお読みに成っても、理解できない所も有ります。先回の、「今、430が熱い」も理解できると思います。

自作集団 ホワイトエンジェル

